

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	既存補強コンクリートブロック造耐震性能評価 指針検討小委員会	主 査 名：菊池健児 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、全国各地に広く建設され、耐震性を評価・判定する方法の確立が望まれている既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文、解説および評価例を検討し、編集・刊行することを目的とする。さらに、新築建物を対象としている『補強コンクリートブロック造設計規準・同解説』や『補強組積造建築物の構造性能評価指針（案）・同解説』も含め、関連規準類の今後の改定に向けての基礎資料を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説（案）を検討する。また、耐震性能評価例の案を作成する。さらに、耐震性能評価法について地震被害との関係の検証等の検討を行う。 ・ 2 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説を編集し、評価例を検討する。 ・ 3 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説の最終原稿を編集し、刊行する。また、今後検討して規準類に反映すべき項目の整理・検討を行う。 ・ 4 年度：3 年度までの内容および新たに得た知見を基に検討して、規準類に反映すべき項目のまとめを行う。 	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無 主査：菊池健児(大分大学) 幹事：五十嵐泉(COMA建築構造研究室)，黒木正幸(大分大学)，西田哲也(秋田県立大学) 委員：青木功(エスビック)，今井弘(毛利建築設計事務所)，植松武是(北海学園大学)，川上勝弥(小山工業高等専門学校)，小室達也(ベターリビング)，西野広滋(トーホー)，花里利一(三重大学)，細川洋治(細川建築構造研究室)，山口謙太郎(九州大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s5/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説の原稿の審議を行った。また、付録の地震被害および耐震性能評価例を完成させ、内容の検討を行った。 2. 本文・解説、付録について小委員会で査読を行い、査読コメントと修正について審議した。 3. 当初計画では、本指針を刊行するスケジュールであったが、作成・検討に時間を要し、設置期間内に完成しなかったため、次期小委員会で作業を継続することとする。
委員会活動の問題点・課題	1. 次年度に設置される「既存補強コンクリートブロック造耐震性能評価指針検討小委員会」で本指針の最終原稿を編集し、壁式構造運営委員会および構造本委員会の査読を受ける。